

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野(3/10)

| | 総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算) | I | II | III | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|-----------------------------------|--------------------------------|--|---|-----------------------|--|
| | | 目標に向けた取組の進捗 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | |
| 先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区(徳島県) | 4.0 | 4.5 進捗度 ・医師不足対策及び在宅医療の推進 109% ・糖尿病対策の推進 85% | 3.5 規制の特例等 ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い等 財政支援等 ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業等 地域独自の取組 ・とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援等 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> 徳島県の医療を担う人材育成と糖尿病関連医療製品の開発が着実に進んでいることは評価できる。 コロナ禍の状況にありながら糖尿病対策を推進されているのは評価に値する。 地域独自の取組や規制の特例措置を活用した取組を通じて、医療従事者の養成・確保、遠隔医療の推進、患者アクセスの改善など、医療の偏在の解消に向け、多方面から着実に進めている点が高く評価できる。 医療人材育成と糖尿病対策という二つの事業の連携が行われているかどうかを示すために、徳島県特有の健康医療課題の解決に注力する医師(地域医療や糖尿病医療など)をどれだけ育成できているかについて評価することも検討いただきたい。 アウトカム創出への総合的な取組がみられる点に注目しつつ、その指標化への挑戦にこれまで同様に期待したい。 「糖尿病克服モデルを全国に発信し、日本はもとより世界中の糖尿病の克服に還元」に向けて、具体的な活動モデルが可視化されると良いと思う。特定行為研修修了者の活動内容が見えない。県民の歩行数を指標化する試みは良いが、実現してほしい。イベント参加は1日のみなので成果は限られるだろう。今後は、透析移行者数など具体的なアウトカム指標を用いた目的の遂行を期待したい。 地域医療の充実が喫緊の課題であることは理解する一方で、医師の能力・スキルアップの側面からは、専門的施設での研修(国内外留学など)も重要になってくると思われる。 生活習慣病ともいえる糖尿病への取組には持続可能性が必要と思われ、本事業に参加された受講者のその後の経過について包括的にフォローアップする体制の構築とアウトカムの共有が望まれる。 |